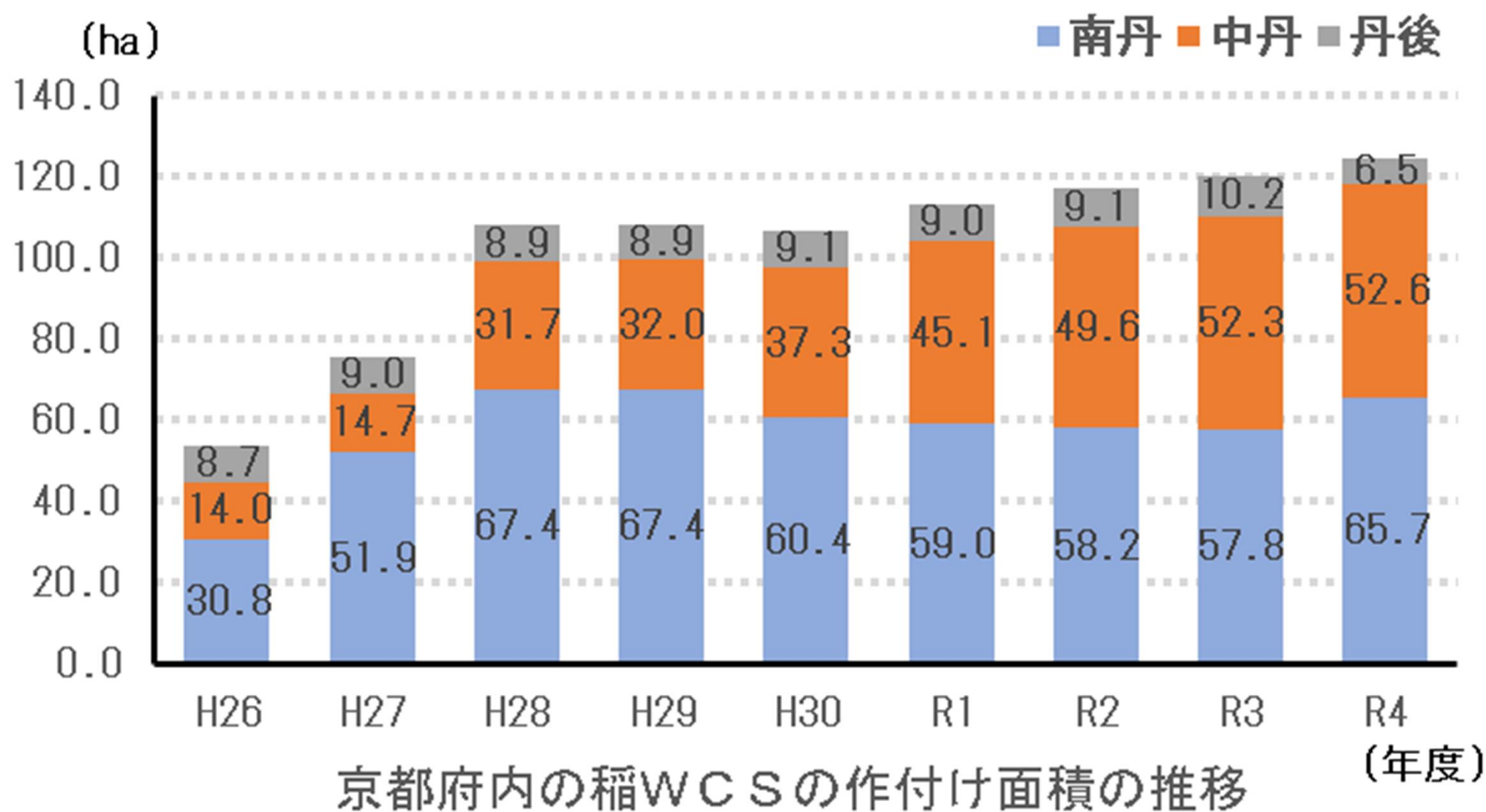


京都府の稲WCS生産・利用の 取り組み（京丹波町）

京都府農林水産技術センター畜産センター
研究・支援部 合田 修三



京丹波町の概要

京都府のほぼ中心に位置する中山間地域です。

人口は、13,135人 農家戸数は、895戸

(令和5年7月31日現在)

(令和2年農林業センサス)

経営耕地面積は、1,000ha

水稻を中心に、黒大豆、小豆、京野菜の生産が行われています。
また、京都府下でも有数の酪農地帯であり、稲発酵粗飼料（WC
S）の生産や肉用牛への飼料用米の生産に取り組んでいます。



取組みの経緯

- ・ 労力や作業環境（夏場の酷暑）の点から夏型長大飼料作物（トウモロコシ、ソルガム等）の収穫・調製に限界を感じていた。
- ・ しかし、ある程度の自給飼料の利用、それに伴う飼料作物生産への畜産堆肥の還元なしには生乳生産は立ち行かない。
- ・ 地域としては、食用水稻の作付け面積が減少傾向にある中、水田ほ場の有効活用が検討されていた。

技術開発

- ・ 平成12年頃から飼料イネ専用品種の開発と普及が進む。
- ・ イネWCSの調製や乳牛・肉用牛への給与技術の研究・普及が進む。

制度設計

- ・ 戸別所得補償制度の中で、飼料米やイネWCSが戦略作物として交付単価8.0万円/10aとして設定される。

地域として本格的にイネWCS生産に取り組む

専用収穫機等の導入

- 平成21年度 強い農業づくり対策(産地競争力の強化)事業（国庫）1/2カッティングロールベラー
- 平成21年度 京都府単費畜産振興対策事業（京都府）1/2ラッピングマシーン平成21年度
- 平成26年度 飼料自給力強化支援事業（国庫）1/2、中山間地域特産物生産応援事業（京都府）1/4カッティングロールベラー、ラッピングマシーン、グラップル付トラクタ（JA京都）

京丹波町のWCS用稲の取組イメージ

WCSの取組イメージ



主な栽培品種 夢あおば（早生）、たちすずか（晩生）の2種類
 夢あおばは地域のコシヒカリ収穫までに収穫・調製を終了
 たちすずかは地域のコシヒカリ収穫終了後に収穫・調製を開始

WCS用稲の取組経過

取組面積 (ha)

農家数

H 2 1 年度

4 . 8

9 戸

平成 2 1 年度 強い農業づくり対策(産地競争力の強化)事業 (国庫) 1 / 2 カットイングロールベラー、

平成 2 1 年度 京都府単費畜産振興対策事業 (京都府) 1/2ラッピングマシーン

H 2 2 年度

9 . 8

1 6 戸

H 2 6 年度

1 6 . 0

2 3 戸

平成 2 6 年度飼料自給力強化支援事業 (国庫) 1 / 2、中山間地域特産物生産応援事業 (京都府) 1 / 4

カットイングロールベラー、ラッピングマシーン、グラップル付トラクタ (J A 京都)

H 2 7 年度

2 6 . 4

3 4 戸

H 3 0 年度

2 5 . 1

2 8 戸

R 1 年度

2 5 . 2

2 9 戸

R 2 年度

2 6 . 4

2 9 戸

R 3 年度

2 3 . 8

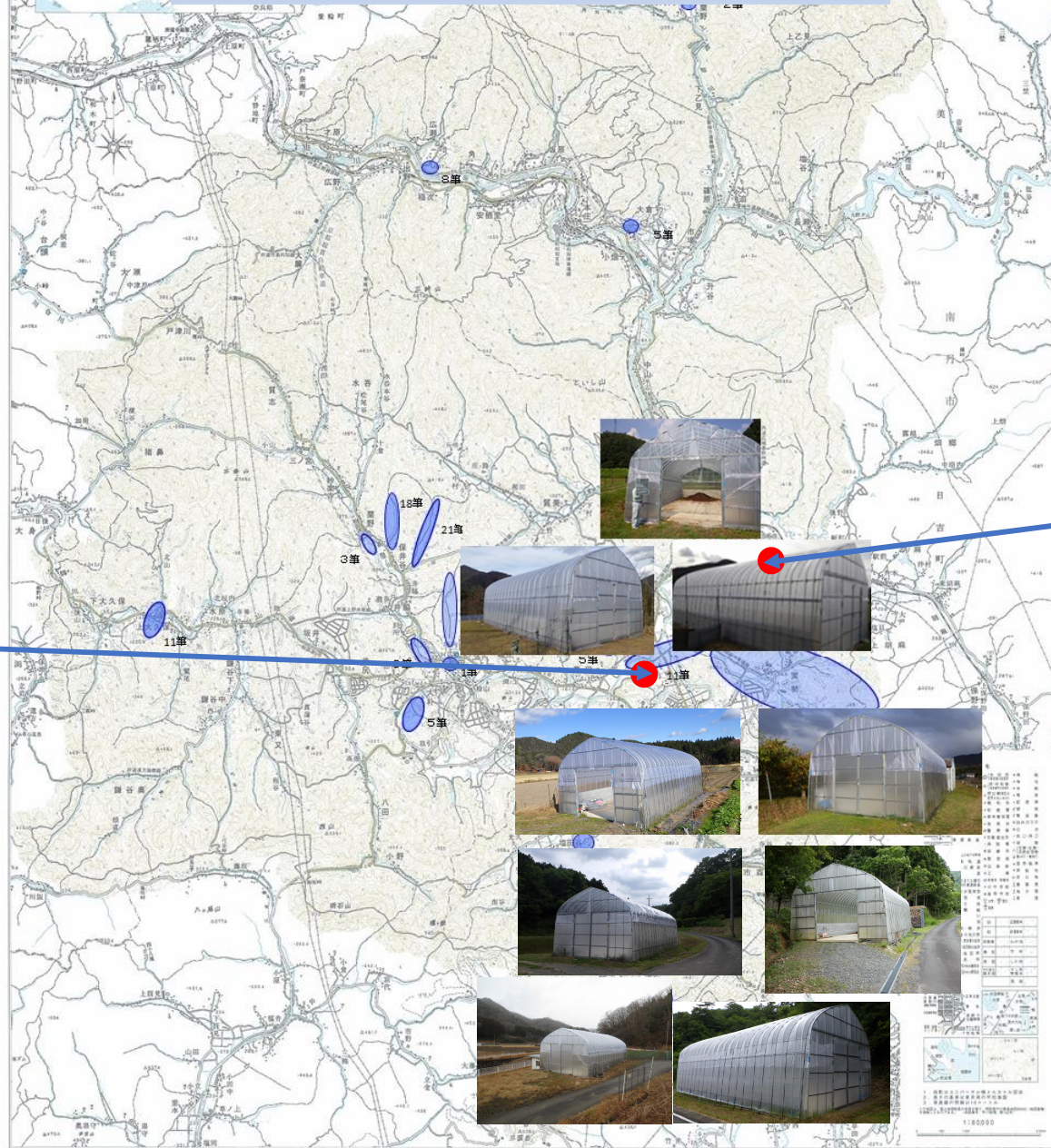
2 5 戸

R 4 年度

2 4 . 2

2 2 戸

耕畜連携の取組みの推進のため
町内に2カ所の堆肥センター
9カ所のストックヤード



南部堆肥センター



北部堆肥センター